

令和7年度 当初予算の概要



変革と再生の予算
～ 市民生活とまちづくりのグレードアップ ～



目次

01	予算編成の方針	3
02	予算規模	4
03	重点プロジェクト	5
04	将来にわたり持続可能な財政運営の推進(資料編)	36

1 予算編成の方針

「第6次福島市総合計画」の最終年度(5年目)となる令和7年度は、計画の将来構想と6つの基本方針を基礎としながら、変革と再生により市民生活とまちづくりのグレードアップを図ることができるよう、下記の8つの分野と取り組みに重点をおき、積極的に政策展開を図る予算を編成しました。

第6次福島市総合計画

将来構想

人・まち・自然が奏でるハーモニー

未来協奏(共創)都市

～世界にエールを送るまち ふくしま～

基本方針

1. 子どもたちの未来が広がるまち
- 2.暮らしを支える安心安全のまち
3. 次世代へ文化と環境をつなぐまち
4. 産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち
5. 新ステージに向けて共創・挑戦・発信するまち
6. 効率的で質の高い行財政経営

1. 安全安心なまちづくり

2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

3. 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

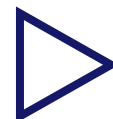
4. 将来にわたり持続可能な産業の振興

5. 賑わいと文化・スポーツの振興

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

7. ゼロカーボンの推進

8. 移住・定住の促進、女性活躍社会の形成



変革と再生による生活とまちのグレードアップ

2 予算規模

令和 **7** 年度 当初予算

一般会計

1,253 億円

(対前年比 +76億 +6.5%)

- 仮置場返還等推進事業費(3.1億円)を除く予算額は、1,249.9億円で、10年連続の増加となる過去最高額の積極型予算
(対前年比 +79.9億円、+6.8%)
- 個別事業で大きく事業費が増加したのは、令和8年4月に供用開始予定の新学校給食センターの整備事業費(54億 皆増)
あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業費 (19.4億円増の22.3億円)

特別会計

569億6,529万9千円

(対前年比 △0.9億 △0.2%)

- 国民健康保険事業費特別会計が6.6億、後期高齢者医療事業費特別会計が2億の増
- 庁舎整備基金運用特別会計が10億の減

企業会計

243億5,487万2千円

(対前年比 △0.08億 △0.03%)

- 下水道事業会計が3.6億の増

合 計

2,066億2,017万1千円

(対前年比 +75億 +3.8%)

3 重点プロジェクト

1. 安全安心なまちづくり

2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

3. 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

4. 将来にわたり持続可能な産業の振興

5. 賑わいと文化・スポーツの振興

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

7. ゼロカーボンの推進

8. 移住・定住の促進、女性活躍社会の形成

104億5,197万円

300億7,511万円

184億644万円

23億4,667万円

46億1,619万円

26億8,878万円

23億5,538万円

2億3,785万円



本市出身のイラストレーター小林沙羅さんに「世界にエールを送るまち」をデザインしていただきました。

新

… 新規事業

拡

… 一部新規及び事業の拡充

A stylized illustration of a rainbow with musical notes and a city skyline at the bottom. The rainbow is composed of multiple parallel lines in various colors (red, orange, yellow, green, blue, purple) and is adorned with several musical notes in corresponding colors. The notes include eighth notes, quarter notes, and a treble clef. The rainbow originates from a grey silhouette of a person playing a guitar in the top left corner. At the bottom of the image, there is a horizontal line representing a city skyline, featuring various buildings, trees, and cars. The sky is white with a few small, grey clouds.

1 安全安心なまちづくり

31事業 104億5,197万円

災害対策の強化

備えあれば憂いなし ～防災体制の強化～

- 拡** 避難所の環境整備
 - 新** 学校体育館へのエアコン設置 600,000千円
レベル3開設避難所となる10校の体育館にエアコンを設置します。
 - 新** トイレカーの導入 31,500千円
(債務負担行為)
 - 拡** 避難所備蓄品の拡充 58,366千円
- 新** 被災者支援システムの構築 10,187千円
民間企業との共同研究により新しいシステムを構築
- 拡** 避難行動要支援者登録名簿の整備・個別避難支援プランの作成 23,068千円
- 拡** 地区防災計画策定の推進 4,480千円
地区防災マップ4地区、地区防災計画4地区
- 新** 災害時応急給水拠点の整備 3,287千円
市民共創で運用する応急給水拠点の整備に着手します。
令和7年度はNCVふくしまアリーナの受水槽を改修します。
- 新** 給水タンク車の増車 … 容量3,000ℓ 1台 28,600千円
- 新** 設置型組立式タンクの配備 … 容量1,000ℓ 3基 2,151千円

除雪力強化パッケージ 100,064千円

過去の大雪対応の経験を教訓として、「雪害」への総合的な対策強化を図ります。
・除雪車運行管理システムの運用 ・小型除雪機購入費補助
・凍結防止剤散布装置の設置 等

地震に強いまちづくり

2,481,743千円

(一部2月・3月補正計上済)

- 拡** 木造住宅の耐震化支援
- ブロック塀等撤去支援
- 拡** 上下水道管路の更新と耐震化
 - ・令和7年度末基幹上水道管路耐震適合率 100%
 - ・救急病院等の重要施設への上下水道管路の耐震化
- 橋りょうの長寿命化 等



水害対策パッケージ

1,239,292千円

- 河川強靱化(河川改修)
- 祓川浸水対策
- 新** 浸水センサによる水位監視
河川やアンダーパスなど60箇所にセンサを設置します。
- 農業施設長寿命化・防災減災事業
水利組合等が管理する農業施設改修を支援します。
- 拡** 田んぼダム … 山口地区、信夫地区で工事に着手 等

消防力の充実強化

- 拡** 消防本部・福島消防署の移転整備推進 63,300千円
- 新** 高機能消防指令センターの整備 12,000千円
消防本部・福島消防署の移転に併せて整備
- 拡** 常備消防自動車(化学車)の更新 86,121千円
- 拡** 高規格救急自動車の更新 43,372千円



生活環境の整備

拡 あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備 2,234,594千円

新 あらかわクリーンセンター焼却工場長寿命化整備 27,422千円

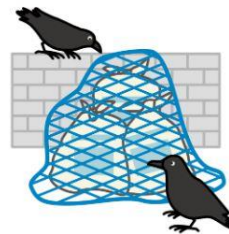
令和10年8月で運転開始から20年となる焼却工場の長寿命化整備に着手します。

○ あぶくま・あらかわクリーンセンター運営 2,211,598千円

○ ごみ適正排出の推進【後掲】 2,952千円

拡 ムクドリ・カラス対策 6,424千円

特殊なLED照明や音声再生装置、街路樹の剪定などにより、ねぐら化を防ぎ、中心市街地のフン被害軽減を図ります。



○ 合併浄化槽設置・転換支援 63,361千円

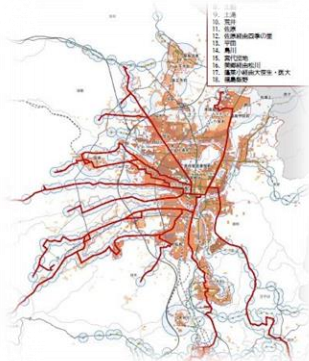
○ 道路の地域安全緊急対策 200,000千円

交通量の多い市道の修繕、緊急車両の通行や災害時の避難に支障をきたす市道の改良を集中的に実施します。

○ 通学路等の交通安全施設整備 114,041千円
(一部2月補正計上済)

拡 バス路線運行維持対策 287,737千円

生活路線バスを維持するため、運行を支援するとともに、乗合タクシー等を運行します。



仮置場の原状回復と放射線からの安全安心確保

中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復を実施

○ 仮置場の原状回復と返還の推進 310,000千円

区分	設置箇所数	R6末 返還完了見込	R7末 返還完了見込	進捗率
仮置場	34箇所	32箇所	34箇所	100%
仮々置場	7箇所	7箇所	7箇所	
合計	41箇所	39箇所	41箇所	

放射線からの安全安心確保

○ 環境放射線量の測定 30,794千円

市内の環境放射線量を定期的に測定し公表します。
(公共施設等158箇所、公園557箇所)

○ 放射性物質吸収抑制対策 36,286千円

牧草などへのカリ肥料の散布や果樹の改植など、放射性物質の吸収抑制対策を支援します。

○ 放射線からの健康管理 62,326千円

○ 給食まると検査 51,289千円

○ 農産物・食品等放射能測定 57,117千円





2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

52事業 300億7,511万円

子育て支援の充実

子育てのための経済的支援

結婚からこどもが健やかに育つまでの間、切れ目ない経済的な支援を総合的かつ継続的に推進します。

7,902,913千円

結婚新生活

独自

○ 結婚新生活応援【後掲】

①住宅スタートアップ
支援(所得制限なし)

▪ 初年度15万円

②家賃支援

▪ 2年間
▪ 最大年24万円

③住宅取得・リフォーム
支援

▪ 最大30万円



妊娠～出産期

○ 妊娠届時
5万円給付

独自

○ 妊婦健診15回無料

独自

○ 新生児聴覚検査無料

○ 出生時
5万円給付

○ 出産育児一時金
50万円給付

乳幼児期

独自

○ 福島型給食
▪ 質の高い給食
▪ 給食費の約1/3を支援

独自

○ 0～2歳児の保育料
を国基準額から軽減

独自

○ 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

○ 幼児教育・保育
の無償化

小学校

独自

○ 福島型給食
▪ 質の高い給食
▪ 給食費の約4割を
支援

独自

拡 放課後児童クラブ
の利用料を軽減
▪ 第1子(低所得世帯)
2,000円
▪ 第2子 2,000円
▪ 第3子以降
4,000円

中学校

独自

○ 福島型給食
▪ 質の高い給食
▪ 給食費の約4割を
支援



高校

独自

○ 奨学資金
支給制度
▪ 年5万円

国民健康保険税の軽減 (未就学児と18歳以下の子2人目以降)

子どもの医療費18歳まで全額無料

拡 児童手当 月額10,000円～30,000円 所得制限なし 2か月ごと支給

子育て環境の整備

こどもの居場所づくり

新 こどもベースの設置運営 【一部後掲】 195,384千円

学校施設の活用により多彩なこどもの居場所を提供します。

拡 放課後児童クラブの運営 989,772千円

R6:97クラブ ⇒ R7:98クラブ(受入児童数 +101人)

○ こどもの居場所づくりと子ども食堂支援 【一部後掲】 7,200千円
(一部2月補正計上済)

○ ユースプレイスの設置運営 3,400千円

保育の質の向上

○ (仮称)もりあい認定こども園整備 959,200千円

幼児教育・保育の拠点として令和8年4月開園に向け整備を進めます。

○ 特色ある幼児教育・保育の推進 8,524千円

特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設を支援し、豊かな発想や感性を持ったこどもたちの成長を応援します。



○ 保育の質向上に向けた研修 138千円

○ 放課後児童クラブ支援員等処遇改善 215,892千円

○ 放課後児童クラブ巡回支援指導 413千円

多様な保育の提供

新 こども誰でも通園制度の実施 11,076千円

0歳6か月～満3歳未満の未就園児を対象とした新たな通園制度を開始します。



○ 一時預かり保育の実施 103,615千円

私立:保育所21施設、認定こども園13施設、幼稚園11施設
市立:保育所1施設、幼稚園2施設

○ 休日保育の実施 … 私立保育所1施設、市立保育所1施設 10,115千円

○ 医療的ケア児の受け入れ 693千円

○ 病児・病後児対応型保育 … 2施設で実施 32,969千円

子育ての負担軽減

○ 福島型給食の推進 555,751千円

子育て世帯の負担を軽減するとともに食材価格の高騰に対応するため1食あたり130円(約4割)を支援し、こどもたちの記憶に残る給食を提供します。



拡 放課後児童クラブ利用料助成 49,992千円

令和6年度から所得制限を撤廃した多子世帯への助成に加え、新たに低所得世帯の第1子利用料を助成します。

○ 保育施設多子世帯負担軽減 147,275千円

すべての世帯で第2子以降の認可保育所の保育料を軽減します。

子育てにやさしい環境

拡 子どもの医療確保対策 107,599千円

小児科診療所(3施設)新規開設支援、夜間休日急病センターや
オンライン診療を活用した休日小児科の確保

拡 乳幼児健康診査の実施 34,638千円



新

個別健診	1か月	4か月	10か月
集団健診	1歳6か月	3歳児	5歳児 (R8開始予定)

○ 病児・緊急時のこども預かり 17,500千円

○ 子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援 1,984千円

○ 子育て施設の運営 9,913,843千円

○ 地域子育て支援拠点の運営 246,832千円

拡 待機児童対策の推進 808,103千円

私立保育2施設の改築を支援するなど、国基準待機児童ゼロの継続と潜在的待機児童の解消を目指し、様々な取組みを推進します。

共働き子育てしやすい街
ランキング2024

2年連続

第1位

東北

に選ばれました!

福島市は、日本経済新聞社と日経BP・日経xwomanが共同で実施している「子育てしやすい街2024」で、**東北1位(2年連続)**に選ばれました!

今後も、「子育て・教育で選ばれるまち」を目指して、子ども・子育て支援策の充実を図るとともに、「子どものえがおあふれる福島市」の実現に向けて、地域全体で子ども・子育てを応援するまちづくりに取り組んでいきます。

教育の充実

学校教育の質向上

拡 福島型オンライン授業 674,054千円

学校内の通信環境を整備するほか、令和8年度に児童生徒用端末を更新する準備を進め、ICTを活用した教育の充実を図ります。

新 「非認知能力育成」実証プロジェクト 800千円

注目されている「非認知能力（自制心、自己肯定感、勤勉性、やり抜く力、社会性など）」の育成を目的とした実証プロジェクトに取り組めます。

拡 福島型個性をのばす教育 3,433千円

新たに創設したスクール・サポート企業登録制度の登録企業や本市ゆかりの著名人と連携して、スポーツや文化芸術など各学校で特色ある教育を行い、可能性に挑戦することも育成します。

○ 外国語教育の推進 123,380千円

○ 学校図書館のICT化 26,843千円

○ 学校活動応援 1,000千円

○ 中学生ドリームアップ（キャリア教育の推進） 6,758千円

拡 部活動指導体制整備 16,416千円

中学校の部活動に指導員を配置し活動の質的向上を図ります。また、休日部活動の段階的地域移行に取り組めます。

○ 海外チャレンジ応援 2,500千円



学びの環境の充実

拡 松陵義務教育学校の開校 342,700千円

本市初となる義務教育学校の令和7年4月開校に合わせ、スクールバスを増便し、また、既存校舎の解体や外構整備などを行います。



拡 学校校舎のリフレッシュ 514,800千円

校舎の外壁改修や屋上防水などによる長寿命化をスピードアップして実施します。

新 学校照明のLED化 700,000千円

新 学校体育館へのエアコン設置【再掲】 600,000千円

拡 新学校給食センターの整備 5,406,996千円

令和8年4月の供用開始に向け整備を進めます。

拡 いじめ・不登校対策推進 27,180千円

公民こねくと（P24）によるオンライン学習教材を導入し、児童生徒のペースに合った学習を支援します。

○ 特別支援教育の推進 246,918千円

新 ヒロシマ平和学習プログラムへの参加 3,044千円

戦後80年の節目に中学生を広島市へ派遣し、平和の大切さと命の尊さへの意識向上を図ります。



3

高齢者や障がい者、誰もが健康で
元気に暮らせるまちづくり

41事業 184億644万円

健都ふくしまの創造

人生100年時代

一人ひとりの
健康を応援する
環境づくり地域の
健康
づくり職場の
健康
づくり

⌕ 健都ふくしまの創造 44,653千円

⌕ 特定健康診査の実施【一部後掲】 231,538千円

○ がん検診の推進 644,175千円

⌕ 定期予防接種の推進【一部後掲】 1,001,822千円

高齢者带状疱疹ワクチン接種を追加し、自己負担を軽減します。

○ 任意予防接種の推進 … おたふくかぜ、大人の風しん 12,635千円

高齢者元気の創造

⌕ 高齢者の公共交通利用助成（新シルバーパスポート） 426,986千円

タクシーも利用できる新しいシルバーパスポート制度により、
高齢者の公共交通利用を支援します。



○ 地域で支える交通支援 4,000千円

地域が自ら計画・運行する「小さな交通」を伴走型で支援します。

⌕ 高齢者の定期予防接種の促進 446,463千円

予防接種の自己負担を軽減します。

種類	接種費用	軽減後の自己負担
肺炎球菌	8,735円	2,600円
新型コロナウイルス	15,600円	4,700円
インフルエンザ	5,126円	1,500円
带状疱疹	21,626円	10,800円
	8,341円	4,200円

地域医療の充実

救急医療体制の充実

○ 救急告示病院運営費補助 240,000千円

○ 休日夜間輪番制救急医療体制の確保 107,531千円

市内11病院の輪番制による二次救急医療体制の確保

○ 県立医科大学との連携による医療体制の強化 60,000千円

⌕ 子どもの医療確保対策【再掲】 107,599千円

○ 診療所の運営 238,905千円

夜間休日急病センター、休日救急歯科診療所、茂庭診療所

○ 休日在宅当番医制運営 4,547千円

○ 医師確保、臨床研修支援 等 26,182千円



○ 元気高齢者の介護の仕事への参入支援 770千円

⌕ 介護人材の確保 10,292千円

○ シルバー人材センター活動支援 10,697千円

○ 老人クラブ育成支援 7,934千円

○ ふれあい訪問収集の実施 6,180千円

○ 地域包括ケアシステムの推進 508,249千円

○ 介護保険・後期高齢者医療費負担 8,277,847千円



共生社会の推進

バリアフリーの推進

拡 バリアフリー推進パッケージ 38,724千円

- ・心のバリアフリーの推進
- ・ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進

拡 いきいき！ふくしまマーケット

- 「ふくしま圏域いきいき！ふくしEXPO」開催、カタログ作成
- ・パラスポーツ普及推進
- ・歩道点字ブロック・シート設置
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり推進 等



新 飯坂温泉公衆浴場のバリアフリー化【後掲】

9,900千円
(一部12月補正計上済)

○ 公立夜間中学の運営

4,964千円

令和6年4月に開校した県内唯一の公立夜間中学「天神スクール」を運営します。

新 ダイバーワークスタイルの推進【後掲】

1,185千円

障がい者・高齢者雇用等に取り組む企業を認証し、多様な働き方を推進します。

動物との共生

○ 動物愛護推進

19,254千円

○ ペット同伴避難所の体制整備

329千円

拡 野生鳥獣等の被害防止地域づくり

5,193千円

伐採や刈り払いにより緩衝帯を整備するためゾーニング計画（野生鳥獣と人の棲み分け）の見直しと対策を検討します。



障がい児・者福祉の推進

○ 障がい者福祉サービスの充実

5,925,614千円

○ 相談支援センターの開設 総合5箇所 障がい児1箇所 60,483千円

○ 自立支援医療

245,648千円

新 医療的ケア児の在宅支援

3,600千円

医療的ケア児の自宅へ訪問して医療的ケア、介護、見守りなどを実施し、家族の介護負担の軽減を図ります。

○ こども発達支援センターの運営

54,824千円

○ 包括的支援体制の整備

36,913千円

対象者の属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施します。

多文化共生の推進

○ 多文化共生センター Yuiverse の運営

10,418千円

○ 外国人生活相談

4,677千円

○ 国際交流員配置

6,456千円

○ 結・ゆい・フェスタ開催

1,500千円

○ 国際交流事業支援

1,700千円

○ 外国にルーツを持つこどもの日本語サポート

2,106千円

新 外国人雇用推進

405千円





4

将来にわたり持続可能な産業の振興

32事業 23億4,667万円

農林業の振興

販売拡大・ブランド力向上

- 拡** ふくしまの農産物魅力アップ 5,207千円
 トップセールスやF-BOXの活用、生産者との首都圏販売会など
 市産農産物の知名度アップを図りながら販売を促進します。
- 拡** 「ゆうやけベリー」ブランド化の推進 6,300千円
 生産設備を支援するとともに、認知度向上と
 ブランド化を図る取組みを推進します。
- スイーツ・プレミアム販売促進 2,272千円
- 福島駅前軽トラ市 6,000千円
- 新** 園芸グローバル産地育成支援 18,807千円
 農産物の輸出拡大に向けた生産体制整備など
 生産者の取組みを支援します。



新規就農支援

- 拡** 新規就農パッケージ 183,835千円

支援項目	内 容
農業体験支援	センパイ農家さんが指導者となり農業体験を受入
農業メンターによるサポート	センパイ農家さんがフレッシュ農家さんをサポート(最長2年)
農業経営開始支援	月額5万円 夫婦は7万5千円(最長2年)
新規就農者育成総合対策	年間最大150万円 夫婦は225万円(最長3年)
農地確保支援	【賃 貸 借】 年間賃借料の1/2(3年間)〔上限10万円〕 【所有権移転】 10aあたり2万円〔上限20万円〕

農業の振興

- 地域でつくる農林業振興基金事業【提案枠】 51,500千円
 3戸以上の農業団体が提案する農林業振興の取組みを支援します。
- 拡** 脱炭素・循環型農業支援 13,932千円
 ・農業者が提案する先進的な循環型農業をモデル事業として支援
 ・施設園芸エネルギー転換支援
 ・剪定枝を炭に変え土壌改良するための炭化器の購入助成
- 新** 生分解性マルチの有効性について実証し普及啓発
- スマート農業実装支援 20,000千円
 農作業効率化・生産性向上につながるスマート農機具の導入を
 支援します。
- 気候変動適応型農業支援 10,000千円
- 農業用再エネ設備導入支援 2,400千円
- 農業用水濁水・防災対策 10,000千円
- 農業施設の改修 34,000千円
- 鳥獣被害対策強化 61,264千円
- 拡** 野生鳥獣等の被害防止地域づくり【再掲】 5,193千円



- 公設地方卸売市場の再整備推進 12,571千円

商工業の振興

地場企業の振興

拡 新製品・新技術開発支援

15,143千円

対象		補助率	補助上限
特定 集積 産業	医療福祉機器等 ロボット・航空	3/5	300万円
	食品加工		100万円
上記以外		1/2	50万円

※2か年にわたる開発も支援します。

新 ふくしま新製品・新システム応援

3,000千円

市が市内企業の開発製品を活用することで、認知度向上や販路拡大を応援します。



○ 産業支援コーディネーターによる企業支援 7,530千円

○ ふくしま産業交流フェアの開催 1,800千円

○ 凍み豆腐事業継承推進 2,260千円

福島大学と連携して気候変動に適応した凍み豆腐の製法を調査研究し、伝統産業の継承につなげます。

○ 中小企業振興資金融資 751,200千円

○ 中小企業ゼロカーボン資金融資 【後掲】 309,800千円

新規創業支援

○ 創業応援利子補給パッケージ 4,000千円

利子補給の内容

創業応援利子補給	創業融資に係る利子:1年間 中心市街地での創業:2年間	全額補助
女性のための創業応援利子補給	創業融資に係る利子:2年間	

拡 創業支援トップセールス 450千円

○ 新規創業者への経営指導支援 1,100千円

○ 街なかチャレンジショップ支援 7,407千円

○ クリエイティブビジネスサロン運営 【後掲】 17,483千円



企業誘致の推進

○ 企業誘致の推進 8,671千円

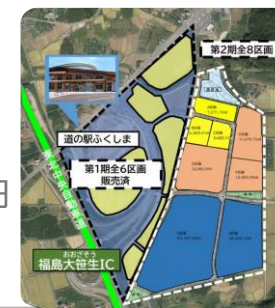
・トップセールス ・企業立地セミナーの開催 ・展示会への出展 等

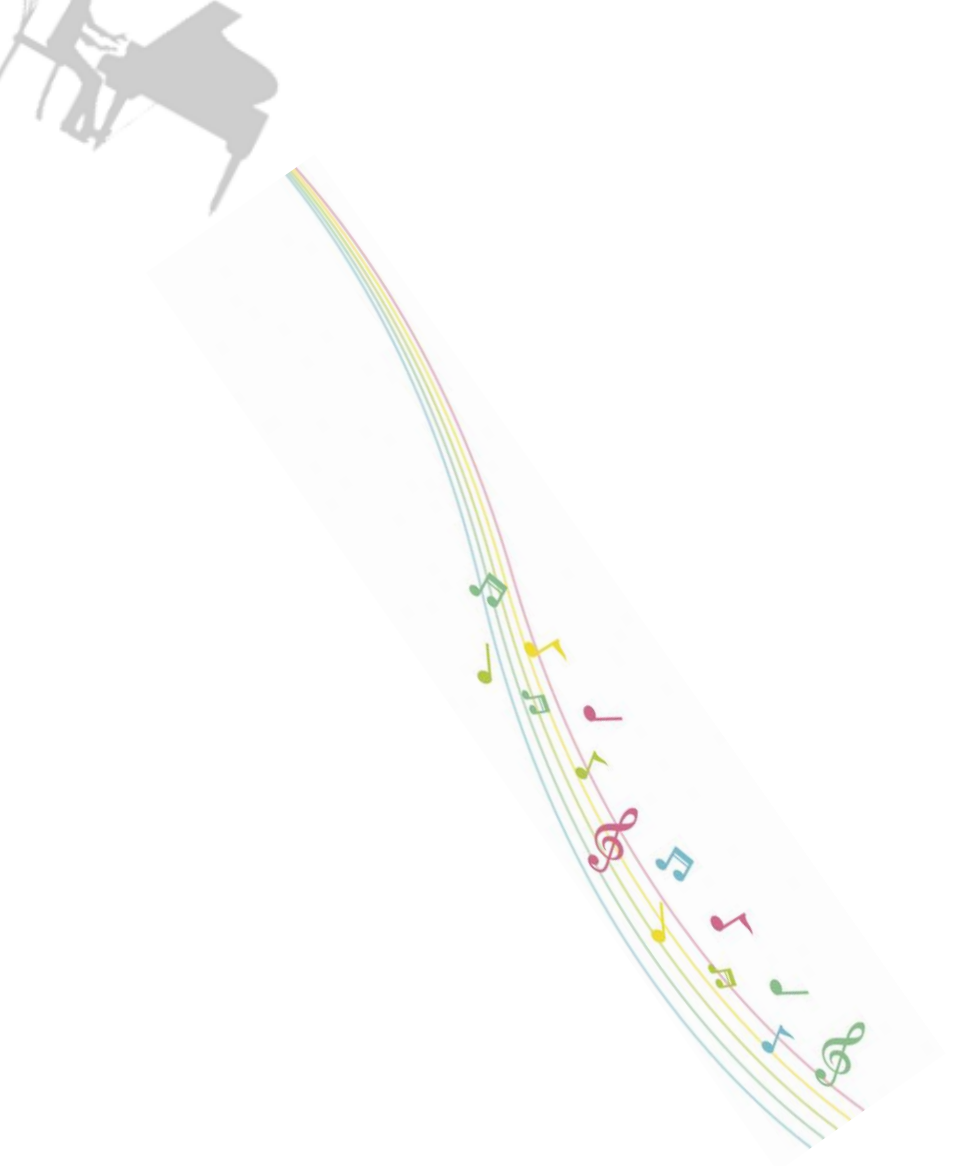
○ 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 5,750千円

拡 公民連携の推進 【後掲】 2,500千円

東京のシェアオフィスを拠点として本市での創業・オフィス開設などの誘致に取り組みます。

拡 福島おおぞらインター工業団地 第2期整備 765,295千円
令和7年度中の工事完了を目指し整備を進めます。
(令和6年度中から随時分譲予約開始)





5 賑わいと文化・スポーツの振興

55事業 46億1,619万円

街なかの活性化

街なか賑わい創出

32,110千円

- ・「街なか交流館」を拠点とした活動・交流
- ・プラットフォームを介した連携とイベント情報発信 等

商店街等活性化イベント支援

36,000千円



街なかテーマパーク開催

10,000千円

まちなか広場等の管理運営

7,965千円

ももりんシェアサイクルの運営

17,876千円

低未利用地活用促進

4,000千円

空き地等の実態調査を行い、空き家・空き地の一体的な利活用に取り組みます。



街なか出店の促進

まちなか立地集積支援

10,000千円

街なかにおいて特定の都市機能を有する建物の新增改築を支援

対象	補助率	上限額
① 建築費(修繕費含む)	1/10	1億円
② 既存建物の取得費(修繕等が前提)	1/20	①とあわせて1億円
③ 既存建物の解体費(建替えが前提)	1/10	5千万円

【対象となる都市機能】

ホテル等宿泊、教育関連、商業、オフィス、医療関連、文化芸術関連

街なか出店家賃補助

76,900千円

対象エリア	区分	補助率		
		1年目	2年目	3年目
中心市街地 空き店舗 重点対策地域	アパレル産業 クリエイティブ産業の新規創業	8/12	6/12	4/12
	その他	6/12	4/12	2/12

新規出店のための内外装工事等補助

30,000千円

対象エリア	補助率	上限額		
新規出店 誘導区域 ほか	クリエイティブ産業 1/2 その他 1/3	100㎡未満	100~200 ㎡	200㎡以上
		100万円	200万円	300万円

中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備

風格ある県都を目指すまちづくり

福島駅周辺まちづくり検討推進

619千円

福島駅東口地区市街地再開発支援

1,120,000千円

事業の核となる再開発事業を国・県とともに支援します。

福島駅前交流・集客拠点施設整備

37,500千円

設計及び運営候補者公募に向けた準備を進めます。

福島駅西口周辺移動手段確保

16,000千円

大型商業施設の閉店等を受け、福島駅西口周辺の買い物や通院等、日常生活の移動手段を確保します。

市民センター運営

16,340千円

中央学習センターや市民会館の身近な機能を統合した市民センターを運営します。

観光対策の強化

花観光

83,233千円

本市ならではの季節ごとの花風景を活かした観光の推進

- ・春の花見山おもてなし
- ・ふくしま花回廊の推進
- ・花ウォーク・ツーデーマーチ開催支援



あづま山麓エリア観光

26,396千円

吾妻連峰の恵みと多様なコンテンツを活かした
エリア観光を推進

- ・吾妻五葉松ツーリズム
- ・蔵元ツーリズム・・・周辺5醸造所の周遊
- ・磐梯吾妻ヒルクライム大会支援
- ・四季の里の活用推進



空観光

90,824千円

空にまつわるロマン溢れる観光を推進

- ・ふくしまスカイパークの活用推進
- ・浄土平天文台の活用推進
- ・UFOふれあい館の活用推進
- ・UFOの里づくり



道の駅ふくしまを核とした地域振興

50,044千円

地域情報の発信や新たな販路開拓の場等を提供し、地域振興の拠点として賑わいの創出と交流人口の拡大を図ります。

温泉地活性化

○ 温泉地活性化推進

新 ふくしま三名湯誘客促進



18,000千円

1,500千円

三温泉地の関係者が連携して新たな組織を立ち上げ、個性豊かな「ふくしま三名湯」をPRし、温泉地の活性化と誘客促進を図ります。

○ 公衆浴場の運営

- ・飯坂温泉の鯖湖湯ほか7浴場
- ・土湯温泉の中之湯
- ・高湯温泉のあったか湯



105,119千円

新 飯坂温泉公衆浴場のバリアフリー化

9,900千円

スロープや手すりの設置など、高齢者や障がい者が
利用しやすい環境を整えます。
(一部12月補正計上済)

新 湯めぐり企画券の導入

250千円

観光客のニーズ等に対応し、飯坂温泉の公衆浴場巡りを
促す企画券を発行します。

拡 ふくしまMICEパッケージ

15,003千円

観光団体、関連事業者等と連携して
MICE誘致を推進するとともに、
コンベンション等の本市開催、バンケット会場
への移動などを支援します。



ふくしまデスティネーションキャンペーンと大ゴッホ展

令和7年度に本県で展開される「ふくしまプレDC」や本市で開催される「大ゴッホ展」などの大型イベントと連携し、歓迎のおもてなしとまちづくりを推進します。

新 ふくしまデスティネーションキャンペーンの推進 8,661千円
 (一部12月補正計上済)

新 大ゴッホ展の推進と受入環境整備 【一部再掲】 123,000千円
 ○ 「ふくしまステイ。」プロモーション 9,269千円
拡 インバウンド誘客プロモーション 8,676千円



古関裕而のまちづくり

拡 「古関裕而記念音楽祭2025」の開催 18,000千円

連続テレビ小説「エール」放映5周年と戦後80年を企画に取り入れながら、あらためて古関氏の功績が実感できる音楽祭を開催します。

新 第3回古関裕而作曲コンクールの開催 16,500千円

高名な審査員を招いて3回目となる作曲コンクールを開催し、古関氏の顕彰と若手音楽家の育成を図ります。



拡 「ふくしままちなか音楽祭2025」の開催 6,000千円

まちなか広場や福島駅前広場などを舞台にした市民参加型の野外音楽祭を2日間に拡大して開催します。

○ 「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動支援 13,902千円
 年3回の演奏会開催を支援します。

○ 「古関裕而杯 第2回中学生女子軟式野球大会」の開催 300千円

○ 古関裕而記念館の運営 31,234千円

○ メロディーバスの運行 21,071千円



歴史・文化と調和したまちづくり

○ ふくしま文化芸術振興事業の開催 25,849千円

・ベルリン交響楽団コンサート
 ・パイプオルガン クリスマスコンサート
 ・心ふれあい音楽鑑賞教室2025 等

新 「縄文シティサミット in ふくしま」の開催 1,900千円

縄文遺跡を有する全国22都市によるサミットを開催

○ じょーもぴあ宮畑の活用推進 7,976千円

○ 民家園の活用推進 141,432千円

○ 旧広瀬座再整備 403,196千円

国指定重要文化財である旧広瀬座の保存修理、耐震補強、設備改修を実施します。(令和7年度完成予定)

○ 写真美術館の活用推進 37,189千円

○ アートストリートふくしまの開催 500千円

拡 文化財調査室整備 15,450千円

新しい文化財調査室として旧東湯野小学校を改修します。



スポーツのまちづくり

○「ふくしまシティハーフマラソン2025」の開催 55,000千円

県都の中心市街地を駆け抜ける

「ふくしまシティハーフマラソン」第3回大会を開催します。

・5月18日(日)

・誠電社WINDY

スタジアム スタート



○ 福島ユナイテッドFCと連携した賑わい創出 14,736千円

○ 福島ファイヤーボンズと連携した賑わい創出 1,744千円

○ スポーツコミッションを通じた合宿・大会誘致 4,696千円

スポーツ団体、観光団体、大学等

と一体となり、スポーツを通じた

地域活性化に取り組みます。



拡 スポーツ施設の改修 114,246千円

安全にスポーツを楽しめる環境を整備します。

・福島トヨタクラウンアリーナの空調改修

・同施設のバリアフリートイレ改修 等

○ スポーツ施設の管理運営 484,839千円

シティセールス



新 大阪・関西万博での東北絆まつり披露 34,330千円

世界中から注目を集める大阪・関西万博への「東北絆まつり」出演を通し、復興支援への感謝と復興を超え新しいステージへ進む元気な姿を全世界へ発信します。

○ ふるさと納税の促進 1,192,927千円

令和6年度ふるさと納税額が初めて20億円に達し、本市への応援に感謝するとともに、特色ある返礼品を通じてさらなる本市のブランド力向上とファン拡大を目指します。

新 ふるさと納税活用型・地域活性化プロジェクト応援 1,000千円

本市の知名度向上に資する映画制作や、地域への愛着を育むスポーツ振興のプロジェクトに取り組む事業者を対象に、ふるさと納税を活用して応援する制度を創設し、魅力あるまち・選ばれるまちを目指します。

拡 福島市応援関係人口の創出 2,788千円

本市ゆかりの首都圏在住者・経済人・若者等との交流を行い、応援関係人口の拡大を図ります。

拡 公民連携の推進 2,500千円

連携窓口「公民こねくと」の拠点として「ふくしまTokyo HUB」を都内に開設し、首都圏企業との交流拡大やオフィス誘致、シティセールスなどの取組みを強化します。

拡 「納豆のまち福島」ブランド化推進 1,700千円

ネバリ強い取組みにより、2年振りに年間消費額日本一に返り咲いた「納豆のまち福島」の更なるブランド化を推進します。



6

デジタル都市の形成と 地域経営のリノベーション

41事業 26億8,878万円



デジタルで市民サービスの向上と行政の高度化・効率化

市民サービスの向上

- 拡** ホームページのリニューアル 29,998千円
スマートフォンでの見やすさや検索性能の向上を図り、情報発信を強化します。(R7.7/1公開予定)
- 新** 「書かないワンストップ窓口」の推進 65,607千円
申請書を記入する手間を省き、待ち時間の短縮にも寄与する窓口の体制を整備します。
- マイナンバーカードの取得促進 172,022千円
- 拡** 公式LINEの運用 5,174千円
LINEを通じた情報発信、市民通報、イベント予約など

- 拡** 母子保健スマート窓口推進 8,674千円
・スマートフォンから妊娠届出の提出や乳幼児健診の予約
・乳幼児集団健診の問診票登録の機能を追加
- 市民センター・学習センター予約システムの運用 10,622千円
・WEBで施設予約
・キャッシュレス決済
- 新** 被災者支援システムの構築【再掲】 10,187千円

高齢者にもやさしいデジタル化の推進【一部再掲】

デジタル活用が不得手な方でもデジタル化の恩恵を享受できるよう、やさしくサポートします。

- ・スマートフォン利活用支援講座の開催
- ・デジタルサポートデスクの開設
- ・シニアICTサポーターの育成
- ・シルバー人材センターICT班との連携
- ・地域におけるデジタルクラブの立ち上げ
- ・新シルバーパスポート専用コールセンターの運営



行政の高度化・効率化

- 総合防災情報システムの運用 23,131千円
- 拡** 電子入札システム運用 11,380千円
R5の一部導入から計画的に適用範囲を拡大している
電子入札について、計画を前倒してさらなる拡充を図ります。
- 文書管理システムの運用 24,236千円
- 新** 企業会計システムの電子決裁化 4,048千円
- 新** 農地調査へ衛星画像解析の導入 3,995千円
農地の現地調査に人工衛星による画像解析を導入し効率化
- 拡** ICTによる業務効率化 13,290千円
・文書生成AI ・RPA ・AI-OCR
・音声自動文字起こしシステム

デジタルで市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興

市民生活の向上

- 健康づくり競争(共創)チャレンジ 2,012千円
アプリでの参加が多い地区には交付金を加配
- 12誘導心電図伝送システムによる救命率向上 343千円
- 拡** 休日小児科等におけるオンライン診療の活用【再掲】 3,520千円
- 見守り機能の充実 2,682千円
児童保育での見守り、認知症高齢者の見守り
- 拡** 保育所・幼稚園の登園管理システムの運用 15,587千円
- 拡** 福島型オンライン授業【再掲】 674,054千円
- 学校図書館のICT化【再掲】 26,843千円
- 電子図書館の運用 4,849千円
- 新** 国民健康保険税の試算サービスの運用 387千円
スマートフォンで国保税が試算できるサービスを導入します。
- 新** 特定保健指導の実施 567千円
オンラインを活用した特定保健指導を実施します。
- デジタルスタンプラリーの開催【一部再掲】 27,437千円
 - ・ふくしま花回廊
 - ・ふくしま田園観光圏

経済の向上

- 新** ふくしまデジタル・イノベーション・アワードの開催 500千円
市内事業者等のデジタル技術やAIを活用したビジネスの革新や業務効率化等の取組みを表彰・支援し、地域全体への波及を目指します。
- デジタル人材バンク運営 250千円
- 3Dデジタル都市計画情報の構築 81,000千円
 - ・都市計画図の更新に合わせて3Dデータ化(R6～R8の3か年で整備)
 - ・公共インフラとしてオープンデータ化
 - ・洪水ハザード情報などの災害リスクの可視化
- スマート農業実装支援【再掲】 20,000千円
- クリエイティブビジネスサロン運営 17,483千円
シェアオフィス、コワーキングスペース、ミーティングルームを備えたビジネス環境を提供



「日本DX大賞2024」優秀賞受賞！

地域全体のデジタル化の底上げが評価され、行政機関・公的機関部門で表彰されました。

今後も、さらに多くの市民や事業者がデジタル活用のメリットを享受できる取組みと、自治体DXへの貢献をととして、デジタル産業が集まる都市づくりと持続可能な行財政運営を目指します。

共創によるまちづくり

○ 地域コミュニティ等活動支援 17,020千円

地域の主体的なまちづくりの取組みを支援します。

拡 地域おこし協力隊 … R6:8地区8人 ⇒ R7:8地区9人 52,007千円



飯野地区
(近野)



大波地区
(大澤)



吾妻地区
(土屋)



土湯温泉町地区
(中風)



松川地区
(南雲)



西地区
(神長倉)

新 まちぶらチャレンジ支援 2,250千円

商店街組織や商業者グループ等が実施する商店街ブランド化や担い手育成の取組みを支援します。

○ こくりナビプロジェクト 293千円

若者が主体性を持って地域活動や市の事業に参加できる機会を提供し、積極的に若者が活躍するまちづくりを推進します。

新 教育施設の包括管理 368千円

令和8年度からの包括施設管理導入を目指し、準備を進めます。

拡 システムの標準化とガバメントクラウドへの対応 529,617千円

- ・住民記録、税、福祉など20の基幹業務に国の標準準拠システムを導入 (R7は17業務で導入 → 残り1業務)
- ・導入後はガバメントクラウド上で運用

持続可能な行財政経営

拡 新総合計画の策定 10,077千円

令和8年度からの5年間を計画期間とする新しい総合計画を策定します。

拡 連携中枢都市圏の形成による広域的発展【一部再掲】 796,809千円

新 GISで活用する航空写真の合同撮影

- ・LINEを活用した子どもの遊び場情報の発信
- ・福島ユナイテッドFCと連携した小学生サッカー交流大会
- ・新たなビジネス創出等を促進する展示会の開催
- ・観光資源を活用した教育旅行、広域周遊の推進
- ・婚活イベントによる出会いの場創出
- ・QRコードを活用した認知症高齢者の見守り
- ・障がい者施設が提供する製品の販売会

新 非常用給水袋の共同購入 等

拡 公民連携の推進【再掲】 2,500千円

拡 都市間交流の推進 1,836千円

- ・東京都荒川区(友好都市)
- ・山口県山口市(交流都市)
- ・愛知県豊橋市(パートナーシティ)

新 わらじまつり豊橋市演舞

大阪・関西万博出演(P24)の機会を活用し、「わらじまつり」の披露や物産販売による交流を図ります。

○ 産官学連携プラットフォームの推進 1,000千円

産業界・市・大学等による連携体制を活用し、若者の地元定着や人材育成等の地域課題解決に取り組みます。





7

ゼロカーボンの推進

21事業 23億5,538万円



再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

事業者向け支援

○ 中小企業ゼロカーボン資金融資 309,800千円

再エネ・省エネ設備導入を促進するため、市独自の制度融資で支援します。

用途	貸付限度額	貸付期間	利率(予定)	信用保証料
設備開発	5,000万円	10年以内	1.5%以内	補助率2/3 上限50万円
設備投資		15年以内	2.0%以内	

新 省エネルギー設備導入支援 30,500千円
(2月補正計上済)

事務所や店舗等の照明をLED化し、経営効率化と脱炭素化に資する事業者の取組みを支援します。

・対象事業者 中小企業者、個人事業主、社会福祉法人、学校法人、医療法人、NPO法人、農業者

・補助率1/3 上限額20万円

拡 脱炭素・循環型農業支援 【再掲】 13,932千円

○ 農業用再エネ設備導入支援 【再掲】 2,400千円

公共施設での活用推進

拡 公共施設の省エネ改修 【一部再掲】 816,380千円

公共施設の照明のLED化

・東部支所・もちぎり学習センター
・市立保育施設(3施設)
・文化・スポーツ施設(7施設) 等

・吉井田支所・学習センター
・市立中学校(12校)

家庭向け支援

○ 脱炭素住宅整備促進 37,300千円

対象設備	支援内容
太陽光発電システム	4万円(定額)
蓄電池	1万円/kwh(上限10万円)
HEMS	1万円(定額)
家庭用EV充電設備	設置費用の1/3(上限2万円)
V2H機器	10万円(定額)



○ 脱炭素生活スタイル普及啓発 660千円

○ 水素活用の普及推進 1,200千円

FCV(水素自動車)購入に対し市独自に最大20万円を補助します。

拡 街路灯・道路照明灯のLED化推進 233,900千円

・街路灯 1,300灯(前年比同)
・道路照明灯 720灯(前年比+290灯)

○ 公用車のエコ化 10,941千円

・EV2台・HV3台購入
・充電設備1基設置

○ こむこむ館の屋根改修 261,000千円

熱反射に優れ放熱もするアルミ製瓦棒葺屋根に改修し、冷暖房の電気使用量を削減します。
(令和8年度には照明のLED化も予定)

森林整備 木材利活用の推進

森林整備

- 拡** 森林の適切な管理運営の推進 50,000千円
 - 新** 森林ビジョン策定
 - ・森林所有者への意向調査
 - ・経営管理権集積計画の作成
 - ・計画に基づく森林整備 … R7: 吾妻地区20ha
- 森林再生の推進 97,500千円
 - ・伐採や下草刈、路網整備を一体的に実施
R7: 西、飯坂、吾妻地区
- 林業専用道の整備 … R7: 吾妻地区(上古屋線) 29,085千円
- 森林病虫害被害防止対策 21,900千円

木材利用促進

- 新** 私立学校の木造校舎建築支援 13,000千円

県産木材を使用しての木造校舎建築を支援し、木材の利用促進を図ります。
- 旧広瀬座再整備 【再掲】 403,196千円

旧広瀬座の保存修理等に併せて、木造のトイレ棟を新設
(令和7年度完成予定)
- 新** 水林自然林整備 … 木製ベンチ2基設置 1,780千円

普及啓発

- 森林環境学習の推進 8,090千円

森林環境についての体験学習や観察学習などを推進します。

 - ・小学校36校、特別支援学校1校で実施予定



ごみ減量化の推進

- ごみ減量化促進対策 9,866千円

【生活系ごみ】 市民1日あたりの生活系ごみ排出量(資源物除く)を530g以下とすることを目標に、ごみ減量化・資源化を促進します。

 - ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の利用促進
 - ・生ごみ処理容器購入助成
 - ・食品ロス削減マイスターによる出前講座
- 適正排出の推進 2,952千円

【事業系ごみ】 「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」を安く提供する店舗と市民とをマッチングする「ふくしまタバスケ」を運用し、食品ロスの削減を目指します。

 - ・製品プラスチックの回収実証実験
 - ・使用済みの充電式電池の分別回収
 - ・「ごみの分別と出し方」「クリーンガイドブック」の改訂





8

移住・定住の促進、女性活躍社会の形成

17事業 2億3,785万円

移住の積極的推進

空家等対策推進 63,034千円

- ・移住者、新婚・子育て世帯による空き家のリフォームに加え、シェアハウスへの改修を支援します。
- ・新たに空き家の解体や改修・修繕を市独自の融資制度で支援します。

○ 移住コーディネーターによるサポート 5,065千円

○ ふくしま定住促進 1,250千円

○ 広報推進 3,137千円

○ 新生活応援 11,246千円

○ U I Jターン移住支援 31,100千円

○ クリエイティブビジネスサロン運営【再掲】 17,483千円

○ 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援【再掲】 5,750千円



女性活躍の推進

○ 女性活躍推進セミナー開催 2,000千円

ダイバーワークスタイルの推進 1,185千円

女性の活躍推進やキャリア形成支援、男性の育児休業の取得促進などを先進的に実践する企業を認証し、多様な働き方を推進します。

○ 女性の起業チャレンジ支援 584千円

結婚・定住しやすい環境整備

○ 出会いの場創出 5,247千円

独身男女に対する出会いの場の提供や、ライフサポーター・マリッジサポーターによる出会い・結婚相談を実施します。



○ 結婚新生活応援 67,157千円

新婚世帯のスタートアップを支援します。

区分	補助額(最大)		所得制限
	1年目	2年目	
住宅スタートアップ支援 (賃貸住宅初期費用、引越費用支援)	15万円	-	なし
家賃支援	24万円	24万円	500万円 未満
マイホーム購入・リフォーム支援	3年目までの取得で 30万円		

○ わかもの住まい支援 1,200千円

空家等対策推進【再掲】 63,034千円

○ 女性の創業応援利子補給（2年間全額補助）【再掲】 1,100千円

女性の資格取得支援(ひとり親)…所得制限の緩和・撤廃 13,117千円

女性の相談支援強化 8,197千円

困難な問題を抱える女性への支援を展開するためのネットワークを構築・運営し、相談体制を強化します。



物価高騰対策

11事業 29億1,818万円

物価高対策

新 生活支援特別給付金 1,161,500千円
(2月補正計上済)

低所得世帯の生活を支援するため、市が6千円を上乗せして

特別給付金を給付します。

早期の給付を目指し、給付できる世帯から随時給付していきます。

対象	給付額	
基準日(令和6年12月13日)に本市に住 民登録があり、世帯全員が住民税 非課税の世帯	特別給付金 (1世帯あたり)	こども加算 (児童1人あたり)
	36,000円	20,000円

新 プレミアム付きクーポン 604,000千円
(2月補正計上済)

長引く物価高に直面する市民生活支援と、地域経済の下支えを

図ります。 利用期間(予定):R7.5月～7月末

対象	内容
基準日(令和6年12月13日)に本市に住 民登録がある方 ※生活支援特別給付金受給対象世帯の 世帯員を除く	8,000円で10,000円分 (プレミアム2,000円)

新 省エネルギー設備導入支援 【再掲】 30,500千円
(2月補正計上済)

事務所・店舗等の照明LED化を支援

新 子ども食堂緊急支援 2,000千円
(2月補正計上済)

子ども食堂を対象に価格が高騰する米を現物支給し、
安定した活動ができるよう支援します。

○ 福島型給食の推進 【再掲】 555,751千円

○ 米粉等利用拡大支援 1,000千円

○ 道路の地域安全緊急対策 【再掲】 200,000千円

○ 中小企業ゼロカーボン資金融資 【再掲】 309,800千円

拡 脱炭素・循環型農業支援 【再掲】 13,932千円

○ 農業用再エネ設備導入支援 【再掲】 2,400千円

○ 脱炭素住宅整備促進 【再掲】 37,300千円

4 将来にわたり持続可能な財政運営の推進(資料編)

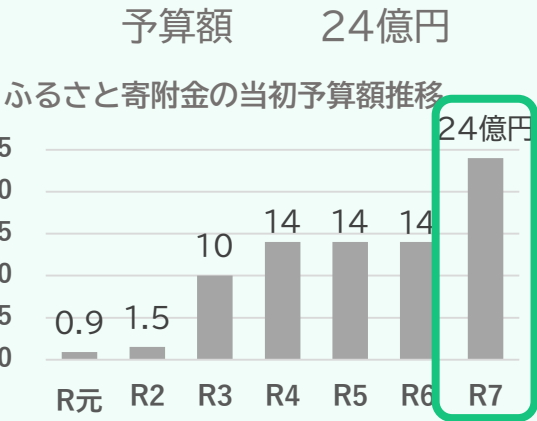
財源の確保

将来にわたり持続可能な財政運営を維持するとともに、社会情勢の変化や新たな地域の課題に対応する緊急度・優先度の高い事業に予算を振り向けるため、市税をはじめとする自主財源の確保、事務事業の見直し、交付税措置のある有利な市債の活用に努めました。

自主財源の確保

- 市税の確保 予算額 424億円
歳入の根幹となる市税は昨年度の定額減税の影響を除いても、市民税が増となるなど、全体で昨年度を上回る歳入を確保
対前年度比 +28億円(定額減税の影響を除いた場合 +17億円)

- ふるさと寄附金の確保
魅力的な返礼品とともに、市のまちづくりの方向性やブランド力をPRし、本市のファンを増やしなが、ふるさと寄附金のさらなる確保を目指します。
(対前年度比 +10億円)



- 自治体ビジネス収入 予算額 65万円
内製で開発し、企業との連携で商品化した議会答弁検討システムの著作権収入増加を見込みます。
(導入見込自治体 R6:16自治体 → R7:41自治体)

- ネーミングライツ収入の拡大 予算額 1,969万円
ネーミングライツにより、民間事業者との連携で収入を確保します。
新規公募も実施し、拡大を図ります。【8施設で既に導入】
- 広告料収入の拡大 予算額 1,568万円
市有財産を有効に活用して民間事業者の広告を掲載し、収入の確保を図ります。
新たに本庁舎1階窓口上部壁面に企業広告を掲載します。
(対前年度比 +319万円)

有利な市債の活用

- 公共施設やインフラ施設の整備に充当する市債について、地方交付税措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に努めました。

(単位 千円)

区分		予算額	比率	措置見込額 (元金ベース)	措置率
臨時財政対策債		—	—	—	—
事業充当の市債		14,052,500	100.0%	5,747,496	40.9%
	交付税措置あり	12,386,600	88.1%	5,747,496	46.4%
	交付税措置なし	1,665,900	11.9%	—	0.0%
計		14,052,500	100.0%	5,747,496	40.9%
(実質的な借金)				8,305,004	59.1%

事務事業の見直し等による財源の捻出

- 経常的な事務事業については、消耗品費等の一部費目に前年度比100%シーリングの枠配分方式を導入し、物価高騰の影響を最小限に留めるよう各部局における主体的な見直しを行いました。
- 政策的な経費についても、事業の実績・効果とコストの検証、財源の有効活用を踏まえた新規事業の立上げ、既存事業の見直し・再構築に努めました。
- デジタル技術の活用や民間活力の導入による業務の効率化・コスト削減に努めました。
 - ・BPRとシステム内製、職員の情報処理能力の底上げ
 - ・文書生成AI、RPA、AI-OCR、音声文字起こしシステム
 - ・市営住宅への指定管理者制度導入
 - ・公民こねくと、デジタル人材バンク
- 本市と近隣の3市3町2村で構成する「ふくしま田園中枢都市圏」の連携を活かして、事業の共同発注や共同開催などの取組みを推進し、業務の効率化・コスト削減に努めました。
- 施設の照明や街路灯・道路照明灯のLED化、公用車へのエコカー導入により、省エネルギー化と電気料・燃料費の抑制を図ります。
- 公衆浴場の入浴料や営業時間の見直し、企画券の導入などにより、持続可能な経営と温泉地の活性化・利用促進を図ります。
また、旅館等の温泉使用料を見直し、老朽化した設備の更新などの財源確保を図ります。

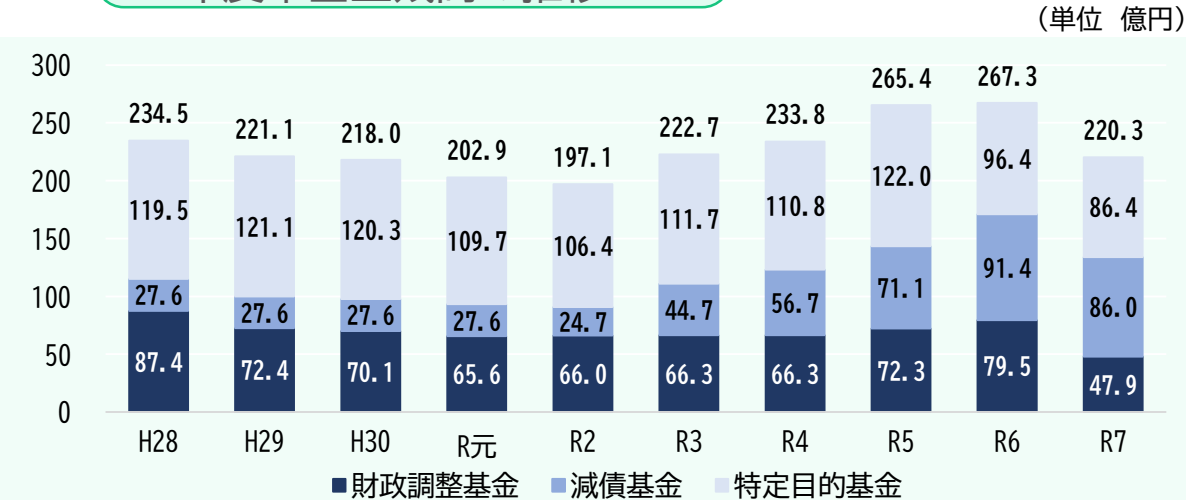
基金の活用

- 財政調整基金をはじめとする各種基金を有効に活用しました。
- 基金の年度末残高の合計は、令和6年度末現在高よりも47億円減少する見込みです。

基金繰入金 15基金 49億3,021万円
(単位 千円)

基金名	繰入額
財政調整基金	3,200,000
減債基金	583,259
特定目的基金	1,146,956
環境基金	606,660
子ども・子育て基金	132,900
農林業振興基金	126,650
復興基金	89,480
森林環境整備基金	65,076
その他8基金	126,190
計	4,930,215

年度末基金残高の推移



一般会計歳入の状況

科目別歳入予算

(単位 千円、%)

款	令和7年度		令和6年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	42,400,000	33.8	39,600,000	33.6	2,800,000	7.1
2 地方譲与税	1,019,906	0.8	1,080,906	0.9	△ 61,000	△ 5.6
3 利子割交付金	14,000	0.0	14,000	0.0	-	0.0
4 配当割交付金	161,000	0.1	125,000	0.1	36,000	28.8
5 株式等譲渡所得割交付金	71,000	0.1	58,000	0.0	13,000	22.4
6 法人事業税交付金	772,000	0.6	766,000	0.7	6,000	0.8
7 地方消費税交付金	7,600,000	6.1	7,700,000	6.5	△ 100,000	△ 1.3
8 ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	-	0.0
9 環境性能割交付金	82,000	0.1	74,000	0.1	8,000	10.8
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,955	0.0	1,945	0.0	10	0.5
11 地方特例交付金	273,763	0.2	1,327,076	1.1	△ 1,053,313	△ 79.4
12 地方交付税	14,800,000	11.8	13,300,000	11.3	1,500,000	11.3
13 交通安全対策特別交付金	30,000	0.0	33,000	0.0	△ 3,000	△ 9.1
14 分担金及び負担金	582,999	0.5	590,576	0.5	△ 7,577	△ 1.3
15 使用料及び手数料	1,465,036	1.2	1,477,881	1.3	△ 12,845	△ 0.9
16 国庫支出金	21,544,287	17.2	19,251,942	16.4	2,292,345	11.9
17 県支出金	9,203,634	7.3	9,267,880	7.9	△ 64,246	△ 0.7
18 財産収入	444,581	0.4	391,398	0.3	53,183	13.6
19 寄附金	2,659,505	2.1	1,653,629	1.4	1,005,876	60.8
20 繰入金	5,026,721	4.0	6,886,024	5.9	△ 1,859,303	△ 27.0
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	0.0
22 諸収入	3,090,112	2.5	2,982,042	2.6	108,070	3.6
23 市債	14,052,500	11.2	11,113,700	9.4	2,938,800	26.4
合 計	125,300,000	100.0	117,700,000	100.0	7,600,000	6.5

主な増減理由

1 市税

- 市民税 188億6,200万円（+21億5,500万円）
令和6年度分定額減税が終了したことに伴い、個人住民税所得割が増
物価高騰が建設業等の利益を圧迫する一方、金融業等が堅調で、
法人市民税は増の見込
- 固定資産税 175億9,900万円（+6億2,300万円）
新築家屋及び設備投資による増

11 地方特例交付金

令和6年度分定額減税が終了したことに伴う減

12 地方交付税

- 普通交付税 130億円（+13億円）
給与改定に要する経費や光熱水費の増加等を反映した需要額の増
国の地方財政計画を反映した臨時財政対策債振替皆減による増

16 国庫支出金

児童手当制度の拡充による交付金の増
暮らし・にぎわい再生事業費補助金の減

19 寄附金

ふるさと寄附金の増

20 繰入金

（仮称）市民センター整備事業の終了による庁舎整備基金繰入金の減

23 市債

- 臨時財政対策債 -（△9億円）
国の地方財政計画における臨時財政対策債の皆減
- 事業充当の市債 140億5,250万円（+38億3,880万円）
新学校給食センター整備事業の進捗による増

自主財源と依存財源の内訳

(単位 千円、%)							
区 分		令和7年度		令和6年度		増 △ 減	
		予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
自 主 財 源							
	市税	42,400,000	33.8	39,600,000	33.6	2,800,000	7.1
	分担金及び負担金	582,999	0.5	590,576	0.5	△ 7,577	△ 1.3
	使用料及び手数料	1,465,036	1.2	1,477,881	1.3	△ 12,845	△ 0.9
	財産収入	444,581	0.4	391,398	0.3	53,183	13.6
	寄附金	2,406,218	1.9	1,405,561	1.2	1,000,657	71.2
	繰入金	5,026,721	4.0	6,886,024	5.9	△ 1,859,303	△ 27.0
	繰越金	1	0.0	1	0.0	－	0.0
	諸収入	3,037,603	2.4	2,916,479	2.5	121,124	4.2
	小 計	55,363,159	44.2	53,267,920	45.2	2,095,239	3.9
依 存 財 源							
	地方譲与税	1,019,906	0.8	1,080,906	0.9	△ 61,000	△ 5.6
	利子割交付金	14,000	0.0	14,000	0.0	－	0.0
	配当割交付金	161,000	0.1	125,000	0.1	36,000	28.8
	株式等譲渡所得割交付金	71,000	0.1	58,000	0.0	13,000	22.4
	法人事業税交付金	772,000	0.6	766,000	0.7	6,000	0.8
	地方消費税交付金	7,600,000	6.1	7,700,000	6.5	△ 100,000	△ 1.3
	ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	－	0.0
	環境性能割交付金	82,000	0.1	74,000	0.1	8,000	10.8
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,955	0.0	1,945	0.0	10	0.5
	地方特例交付金	273,763	0.2	1,327,076	1.1	△ 1,053,313	△ 79.4
	地方交付税	14,800,000	11.8	13,300,000	11.3	1,500,000	11.3
	交通安全対策特別交付金	30,000	0.0	33,000	0.0	△ 3,000	△ 9.1
	国庫支出金	21,544,287	17.2	19,251,942	16.4	2,292,345	11.9
	県支出金	9,203,634	7.3	9,267,880	7.9	△ 64,246	△ 0.7
	寄附金	253,287	0.2	248,068	0.2	5,219	2.1
	諸収入	52,509	0.1	65,563	0.1	△ 13,054	△ 19.9
	市債	14,052,500	11.2	11,113,700	9.4	2,938,800	26.4
	小 計	69,936,841	55.8	64,432,080	54.7	5,504,761	8.5
合 計		125,300,000	100.0	117,700,000	100.0	7,600,000	6.5

一般会計歳出の状況

科目別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

款	令和7年度		令和6年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 議会費	646,614	0.5	642,867	0.5	3,747	0.6
2 総務費	12,211,789	9.7	17,552,397	14.9	△ 5,340,608	△ 30.4
3 民生費	49,659,763	39.6	45,612,203	38.8	4,047,560	8.9
4 衛生費	11,476,925	9.2	9,325,097	7.9	2,151,828	23.1
5 労働費	108,063	0.1	103,848	0.1	4,215	4.1
6 農林水産業費	2,352,147	1.9	2,444,342	2.1	△ 92,195	△ 3.8
7 商工費	3,178,801	2.5	3,136,483	2.7	42,318	1.3
8 土木費	12,125,718	9.7	12,170,136	10.3	△ 44,418	△ 0.4
9 消防費	3,433,081	2.7	3,624,110	3.1	△ 191,029	△ 5.3
10 教育費	19,151,647	15.3	11,916,205	10.1	7,235,442	60.7
11 災害復旧費	460,000	0.4	850,000	0.7	△ 390,000	△ 45.9
12 公債費	10,295,452	8.2	10,122,312	8.6	173,140	1.7
13 予備費	200,000	0.2	200,000	0.2	-	0.0
合 計	125,300,000	100.0	117,700,000	100.0	7,600,000	6.5

主な増減理由

2 総務費

- ・ (仮称) 市民センター整備事業費の減

3 民生費

- ・ 児童手当の増
- ・ (仮称) もりあい認定こども園整備事業費の増
- ・ 児童福祉施設等整備事業費の増

4 衛生費

- ・ あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業費の増
- ・ 子どもの医療確保対策事業費の増

6 農林水産業費

- ・ ふくしま森林再生事業費の減

7 商工費

- ・ 福島駅前交流・集客拠点施設整備事業費の増
- ・ 東北六市連携事業費の増

8 土木費

- ・ 福島駅東口地区市街地再開発事業費の減
- ・ 市営住宅管理運営費の増

9 消防費

- ・ 消防本部・福島消防署整備事業費の減
- ・ 避難所開設運営費の増

10 教育費

- ・ 新学校給食センター整備事業費の増
- ・ 学校体育館エアコン整備事業費の増
- ・ ICT教育フューチャービジョン推進事業費の増

11 災害復旧費

- ・ 仮置場返還等推進事業費の減

性質別歳出予算と主な増減理由

性 質 別	令和 7 年度		令和 6 年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
義務的経費						
人件費	20,562,746	16.4	19,907,339	16.9	655,407	3.3
扶助費	29,915,930	23.9	27,112,582	23.0	2,803,348	10.3
公債費	10,295,452	8.2	10,126,379	8.6	169,073	1.7
小 計	60,774,128	48.5	57,146,300	48.5	3,627,828	6.3
消費的経費						
物件費	22,598,986	18.0	20,512,014	17.4	2,086,972	10.2
維持補修費	1,664,992	1.3	1,749,807	1.5	△ 84,815	△ 4.8
補助費等	9,207,706	7.4	9,477,328	8.1	△ 269,622	△ 2.8
小 計	33,471,684	26.7	31,739,149	27.0	1,732,535	5.5
投資的経費						
普通建設事業費（補助）	8,892,209	7.1	8,202,330	7.0	689,879	8.4
普通建設事業費（単独）	9,364,395	7.5	5,568,165	4.7	3,796,230	68.2
小 計	18,256,604	14.6	13,770,495	11.7	4,486,109	32.6
災害復旧費						
災害復旧費（補助）	310,000	0.2	700,000	0.6	△ 390,000	△ 55.7
災害復旧費（単独）	143,000	0.1	150,000	0.1	△ 7,000	△ 4.7
小 計	453,000	0.3	850,000	0.7	△ 397,000	△ 46.7
その他						
積立金	224,218	0.2	2,093,476	1.8	△ 1,869,258	△ 89.3
投資及び出資金	90	0.0	90	0.0	-	0.0
貸付金	1,627,100	1.3	1,657,700	1.4	△ 30,600	△ 1.8
繰出金	10,293,176	8.2	10,242,790	8.7	50,386	0.5
予備費	200,000	0.2	200,000	0.2	-	0.0
小 計	12,344,584	9.9	14,194,056	12.1	△ 1,849,472	△ 13.0
合 計	125,300,000	100.0	117,700,000	100.0	7,600,000	6.5

主な増減理由

人件費

- ・ 会計年度任用職員の給料、期末・勤勉手当、共済費の増
- ・ 職員退職手当の減

扶助費

- ・ 児童手当の増
- ・ 私立保育所・私立認定こども園給付費の増

公債費

- ・ 長期債償還元金・利子の増

物件費

- ・ ふるさと納税促進事業費の増
- ・ ICT教育フューチャービジョン推進事業費の増
- ・ 放課後児童健全育成事業費の増

補助費等

- ・ 住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費の減
- ・ 高齢者公共交通利用助成事業費の増

普通建設事業費

- ・ 新給食センター整備事業費の増
- ・ あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業費の増
- ・ （仮称）もりあい認定こども園整備事業費の増
- ・ （仮称）市民センター整備事業費の減

災害復旧費

- ・ 仮置場返還等推進事業費の減

積立金

- ・ 減債基金積立金の減

地方消費税交付金(社会保障財源分)が充てられる社会保障施策経費

地方消費税の税率引上分による税収は、年金・医療・介護・少子化対策などの社会保障施策に必要な経費に充てることとされています。

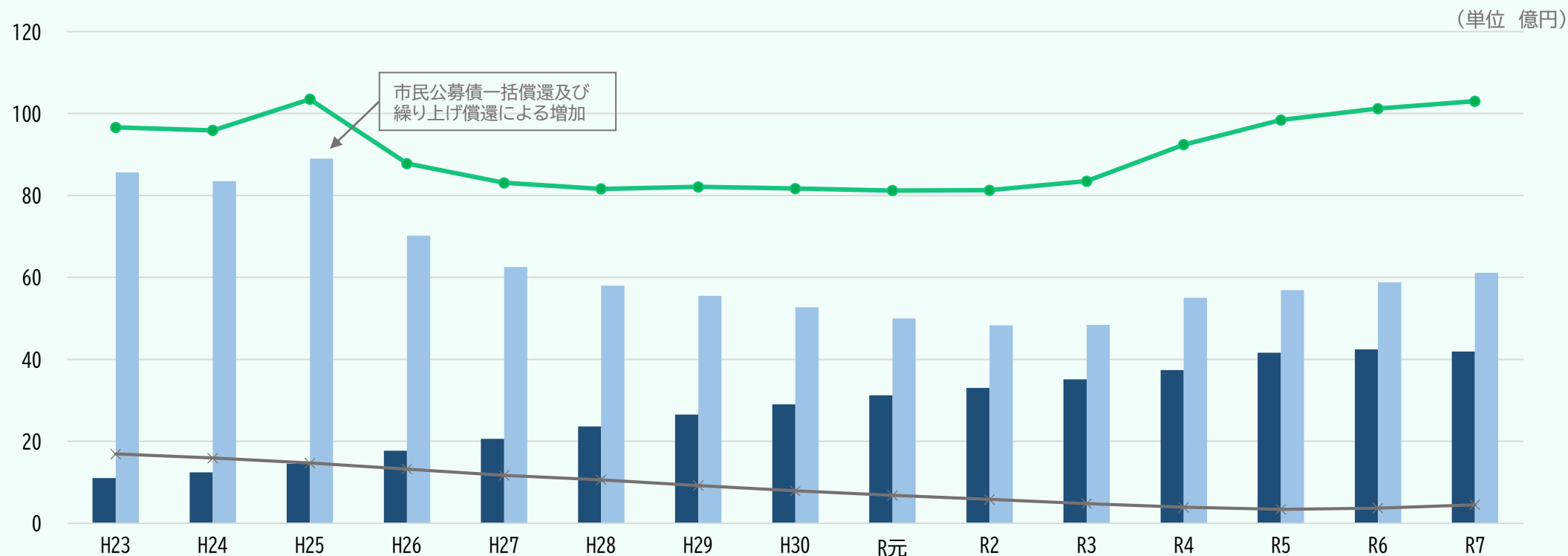
令和7年度歳入における地方消費税交付金のうち、社会保障財源分は41.5億円を見込んでおり、この収入は下記の社会保障施策の一般財源に充てております。(単位 千円)

事業名		予算額	財源内訳	
			特定財源	一般財源
社会福祉費	社会福祉総務費	954,658	38,254	916,404
	国民健康保険事業費特別会計繰出金	1,862,169	836,871	1,025,298
	障害者福祉費	7,621,837	5,392,375	2,229,462
	老人福祉費	1,960,211	548,215	1,411,996
	介護保険費	4,317,539	217,425	4,100,114
	後期高齢者医療費	3,950,940	607,849	3,343,091
	小計	20,667,354	7,640,989	13,026,365
児童福祉費	児童福祉総務費	2,450,219	1,053,107	1,397,112
	児童措置費	20,857,164	14,476,417	6,380,747
	児童福祉施設費	132,141	14,007	118,134
	青少年育成費	25,949	5,184	20,765
	小計	23,465,473	15,548,715	7,916,758
生活保護費	生活保護総務費	373,750	42,927	330,823
	扶助費	5,106,686	3,830,014	1,276,672
	小計	5,480,436	3,872,941	1,607,495
保健衛生費	保健衛生総務費	796,237	113,742	682,495
	保健所費	824,477	47,239	777,238
	保健指導費	428,429	92,209	336,220
	健康増進費	909,031	158,832	750,199
	予防費	1,014,457	81,181	933,276
	小計	3,972,631	493,203	3,479,428
幼稚園費	幼稚園費	424,736	13,735	411,001
合計		54,010,630	27,569,583	26,441,047

一般会計の市債の状況

公債費の推移

- 令和7年度の公債費予算額は、前年度より1.8億円(1.8%)増の103億円となりました。
- 元金償還額が0.4億円増えるとともに、利子も1.4億円増える見込みです。
- 臨時財政対策債の償還額は減少に転じましたが、それ以外の事業充当市債等の償還額は令和3年度から上昇に転じています。

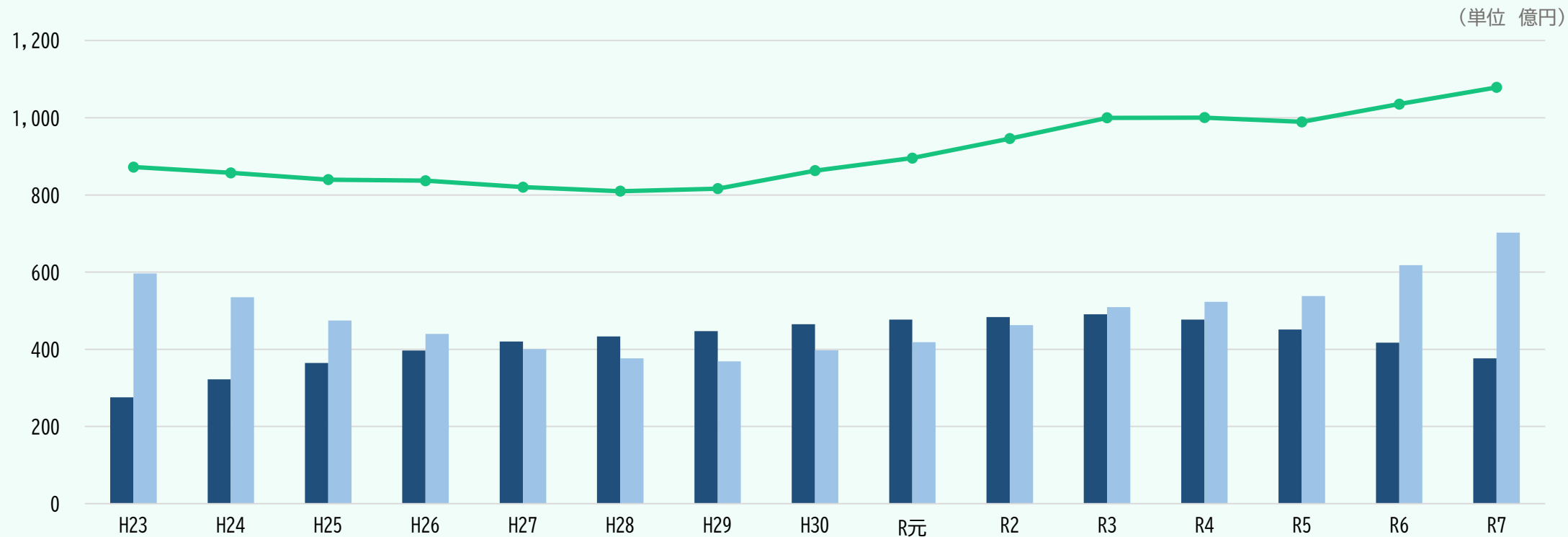


公債費	96.6	95.9	103.5	87.8	83.1	81.6	82.1	81.7	81.2	81.3	83.5	92.4	97.9	101.2	103.0
うち臨時財政対策債	11.0	12.4	14.5	17.7	20.6	23.6	26.5	29.0	31.2	33.0	35.1	37.4	41.5	42.4	41.9
うち事業充当市債等	85.6	83.5	89.0	70.2	62.5	58.0	55.5	52.7	50.0	48.3	48.4	55	56.3	58.8	61.1
うち利子(再掲)	15.9	14.7	13.2	11.7	10.6	9.2	7.9	6.8	5.8	4.8	3.9	3.4	3.3	4.5	5.9

※ 一時借入金利子を除く。

市債残高の推移

- 市債の令和7年度末残高は、前年度末より43億円増の1,079億円となる見込みです。
- 元利償還金の100%を地方交付税で措置される臨時財政対策債が市債残高の34.9%(377億円)を占めています。
- 平成29年度末を底に上昇に転じた事業充当市債等の残高は、新学校給食センター整備事業等により令和7年度に84億円増加する見込みです。
- あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備をはじめとする大型事業の進捗により今後も市債残高の増加が見込まれ、厳しい財政運営が続きます。



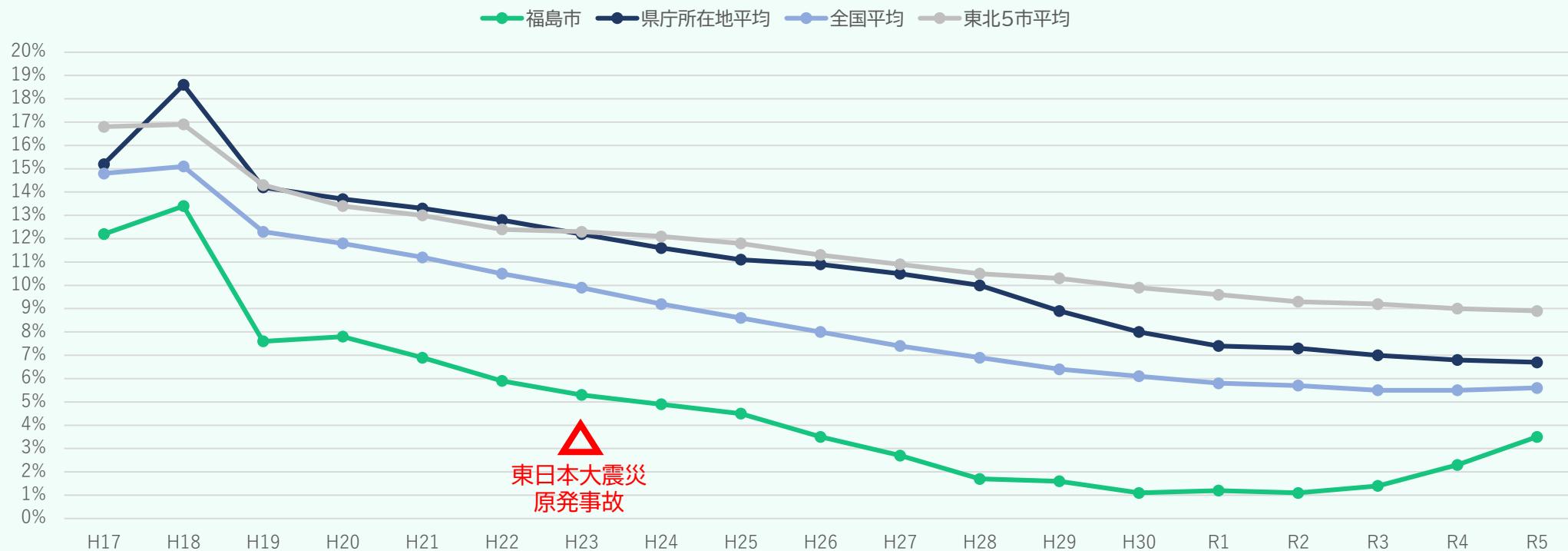
年度末市債残高

うち臨時財政対策債

うち事業充当市債等

実質公債費比率の推移

- 制度が始まって以降、実質公債費比率は全国平均等より低い数値となっており、東日本大震災を境にさらに平均値との差が広がっています。これは地震や原子力災害からの復興復旧作業に最優先として取り組んできた結果、本来、やらなければならなかった事業を先送りせざるを得なかった面があったものと分析をしています。
- 現在、その遅れを取り戻すべく、健全な財政運営に配慮しながらも、中長期的な視点に立って、人や投資を呼び込むまちづくりに資する攻めの施策を積極的に展開しています。



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福島市	12.2	13.4	7.6	7.8	6.9	5.9	5.3	4.9	4.5	3.5	2.7	1.7	1.6	1.1	1.2	1.1	1.4	2.3	3.5
県庁所在地平均	15.2	18.6	14.2	13.7	13.3	12.8	12.2	11.6	11.1	10.9	10.5	10	8.9	8	7.4	7.3	7	6.8	6.7
全国平均	14.8	15.1	12.3	11.8	11.2	10.5	9.9	9.2	8.6	8	7.4	6.9	6.4	6.1	5.8	5.7	5.5	5.5	5.6
東北5市平均	16.8	16.9	14.3	13.4	13.0	12.4	12.3	12.1	11.8	11.3	10.9	10.5	10.3	9.9	9.6	9.3	9.2	9.0	8.9

特別会計予算と事業会計予算

会計別予算

(単位 千円、%)

区 分		令和7年度	令和6年度	増△減	
				増減額	増減率
一般会計		125,300,000	117,700,000	7,600,000	6.5
特別会計					
	1 国民健康保険事業費	22,600,527	21,937,927	662,600	3.0
	2 飯坂町財産区	120,953	210,895	△ 89,942	△ 42.6
	3 公設地方卸売市場事業費	227,143	231,190	△ 4,047	△ 1.8
	4 土地区画整理事業費	11,186	13,470	△ 2,284	△ 17.0
	5 介護保険事業費	28,725,158	28,650,447	74,711	0.3
	6 庁舎整備基金運用	0	1,001,000	△ 1,001,000	皆減
	7 後期高齢者医療事業費	4,483,733	4,275,885	207,848	4.9
	8 青木財産区	2,051	2,054	△ 3	△ 0.1
	9 工業団地整備事業費	777,925	713,122	64,803	9.1
	10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	16,623	20,599	△ 3,976	△ 19.3
小計		56,965,299	57,056,589	△ 91,290	△ 0.2
事業会計					
	1 水道事業	10,825,349	11,205,019	△ 379,670	△ 3.4
	2 下水道事業	13,235,242	12,875,649	359,593	2.8
	3 農業集落排水事業	294,281	282,424	11,857	4.2
	小計	24,354,872	24,363,092	△ 8,220	0.0
合計		206,620,171	199,119,681	7,500,490	3.8

特別会計の主な増減理由

- 国民健康保険事業費
 - 被保険者の高齢化や医療の高度化による療養給付費の増
- 飯坂町財産区
 - 温泉供給施設の改修工事の減
-
-
- 介護保険事業費
 - 要介護者の増及び一人当たりの給付額の増による介護サービス等給付費の増
- 庁舎整備基金運用
 - (仮称) 市民センター整備事業の終了による減
- 後期高齢者医療事業費
 - 被保険者の増による保険給付費の増
- 工業団地整備事業費
 - 第2期福島おおぞらインター工業団地整備の進捗による増

事業会計予算

① 水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和7年度	令和6年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,613,805	7,638,062	△24,257	△0.3%
収益的支出	7,540,051	7,685,778	△145,727	△1.9%
資本的収入	1,320,387	1,098,688	221,699	20.2%
資本的支出	3,285,298	3,519,241	△233,943	△6.6%
支出合計	10,825,349	11,205,019	△379,670	△3.4%

■ 主な事業

(単位 千円)

ふくしま水道事業ビジョン 4つの基本方針	予算額	説明 (新規事業等)
1 安全でおいしい水の供給	280,841	水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。 ①「アイスピグ洗浄工法」による配水管内部洗浄業務の委託 ②ロボット草刈機の導入及び受・配水池の敷地内環境整備
2 災害に強い水道の構築	1,874,315	適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。 ①上下水道総合地震対策事業 ②給水タンク車の購入(容量3,000ℓ 1台) ③設置型組立式タンクの購入(容量1,000ℓ 3基) ④NCVふくしまアリーナの受水槽改修による有効活用
3 持続可能な水道経営	1,545,666	お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。 ①水道通水100周年記念事業の実施 ②企業会計システムと連携した電子決裁システムの本格運用 ③ふくしま田園中枢都市圏構成市町村等との連携(管理業務の共同発注、非常用給水袋の共同購入)
4 地球にやさしい水道へ挑戦	1,425(支出) 40,821(収入)	良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。 ①水道設備(ポンプ)をCO2削減のため高効率設備に更新 ②ペーパーレスオフィスへの挑戦 2030年までにコピー用紙の使用を半減

事業会計予算

② 下水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和 7 年度	令和 6 年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,809,004	7,573,003	236,001	3.1%
収益的支出	7,239,698	7,175,317	64,381	0.9%
資本的収入	3,122,910	2,936,123	186,787	6.4%
資本的支出	5,995,544	5,700,332	295,212	5.2%
支出合計	13,235,242	12,875,649	359,593	2.8%

■ 主な事業

(単位 千円)

事業名	予算額	説明
1 管路建設事業	1,921,813	未普及地区の下水道整備（施工延長L=3,350m）を実施します。また、昨年度に引続き集中豪雨に伴う浸水被害の軽減を図るため、雨水渠改修工事を実施します。
2 下水道ストックマネジメント事業等	116,000	ストックマネジメント計画に基づきポンプ場の点検・調査計画の策定や管渠改築及びマンホールポンプ改築工事を行うとともに、管渠のカメラ調査等の実施により異状箇所等を把握し、計画的かつ効率的に施設更新を行います。
3 下水道総合地震対策事業	12,000	下水道総合地震対策計画に基づき、旧堀河町終末処理場管理棟の耐震補強工事及び管路耐震補強工事の設計を行います。
4 水洗化普及対策事業	7,390	未水洗化世帯への下水道接続指導及び排水設備設置資金の融資に対する利子補給を実施します。

③ 農業集落排水事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和 7 年度	令和 6 年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	154,153	142,510	11,643	8.2%
収益的支出	154,153	142,510	11,643	8.2%
資本的収入	75,272	82,752	△7,480	△9.0%
資本的支出	140,128	139,914	214	0.2%
支出合計	294,281	282,424	11,857	4.2%